

刮目されていた極東と東南アジアの経済発展の最中、金融上の危機がタイを襲い、それは東南アジア各国からついに韓国に至り、日本にも波及しようとした。またアメリカはと言えば、極東と東南アジアを追いつめると、その弊害が本国の経済混乱に及ぶとして、今のところは追求の手を緩め、アジアを追いつめている。桑名市もこのように目をむけている。

こうした金融不安の中、桑名市文化協会の活動は確固たる信念のもと健全なる歩みを進めてきた。伝統を守りながらも常に新しい物を創造してきたのである。

頼山陽と江馬細香との交際を背景に、遠くは広島竹原・大垣から参加者を迎えて、盛り上げてくれた芸能Ⅱ部門の企画は素晴らしい。芸能Ⅲ（洋舞）の技術向上には目を見張るものがあった。重要な文化財に指定された六華苑や市民

会館・プラザでの様々なジャンルの催しは、それぞれ美しい花々を開花させ、不景気を吹き飛ばす勢いであった。この文化祭に対し、市や市の職員をはじめ応援してくれださった方々に深く感謝したい。

あの長く続いた保守的な名古屋と愛知が、今、極めて大きく変化しあげている。元気である。経済人も政治家もである。桑名も三重も負けてはおれないものである。

六月には、わが桑名市文化協会も五周年を迎える。その記念としてシンポジウムを開催する。実行委員の方々は、デモクラティックなやり方で事を運ぼうとしておらる。様々な面で価値感が変化する中で、目を凝らし、耳をそばだてて行動をおこし、このシンポジウムに参加していただきたい。

それが桑名の『元気の証（あかし）』になるのである。

さらに、少しでも多くの市民参加を得るため、文芸展の投句コンクールをはじめ、百人一首・将棋・囲碁・伊勢型紙の年賀状作り・絵かき教室などの市民参加型の企

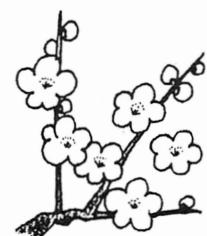
## 価値感の変化の中で

桑名市文化協会会长

佐藤 勤三  
(平成十年一月 寄稿)

平成10年3月20日  
第 6 号

桑名市文化協会  
桑名市中央町2丁目37  
TEL 24-1361



## 事業の報告

「桑名市制施行六十周年記念事業」の名義を受け、第六回桑名市民芸術文化祭を平成九年十一月一日～三十日という長期間にわたって開催しました。

今年度は、市制六十周年を祝う

という意味合いで、例年の茶会を「大茶会」とし、二日間開催しました。好天に恵まれ、野点席・一の間席ともたいへんな賑わいででした。

また、芸能Ⅱ部門のように「桑名」を詠んだ漢詩を歌う全国大会

を企画した部門もありました。有名な漢詩人である頼山陽と江馬細香のゆかりの地である広島県竹原市と岐阜県大垣市からの参加もいたたき、大々的な催しとなりました。

画を今年度も取り入れました。

文化の担い手となる子どもたちの参加も年々増え、その熱演に大いに刺激を受けながら、多彩な事業を行うことができました。

○各会場での催し

【コミュニティプラザ】	
7 8 9 日	美術展 ロビー・会議室等
8 日	子どもお絵かき教室 美術創作室
9 日	演劇の祭典 ホー ル
16 日	子どもフェスタ ・絵本の読み聞かせ ・ちびっこマナー教室
16 日	謡曲まつり ホー ル
24 日	Ⅱステップ、D.E.ムーブメント ホー ル

【六 華 苑】	
2 3 日	大茶会・華道展 一の間・芝生広場・番蔵棟等
22 日	将棋フェスティバル 一 の 間
22 24 日	伊勢型紙の年賀状づくり 会 議 室
23 24 日	百人一首入門講習会 一の間・二の間
23 日	閉幕フェスティバル 一 の 間
24 日	邦楽演奏会 二 の 間
22 24 日	趣味教養展 番 蔵 棟

【市民会館】	
1 2 日	文芸展 ホールロビー
	水石展・手づくり仲間展 3階大会議室
	菊 花 展 ホールロビー
2 日	音楽のフルコースパート2 ホー ル
8 日	ざっくばらんトーク(5) 3階大会議室
16 日	芸能の祭典 ホー ル
30 日	吟剣詩舞道の祭典 ホー ル



第6回

桑名市民芸術文化祭

11月1日（土）～11月30日（日）

会場：市民会館・コミュニティプラザ・六事苑  
主催：桑名市・桑名市教育委員会・桑名市文化協会

## 部門だより

### 文芸展報告

文学部門 佐藤たもつ

(八風俳句会)

第六回文芸展を昨年十一月一・二日、桑名市民会館において開催致しました。このたびも菊花展との併展のおかげで多数の方々の御来場を得ましたこと、誠にありがとうございました。

昨年につづき一般の方々の投句・投詠を募集致しましたところ、これ又多数の作品をいただき、重ねて御礼申し上げます。

内訳

短歌  
俳句  
川柳

十二点  
三十六点  
三十八点

分野別に五点の入選を決めました。各々の方に賞品を贈り、一層の御参加をお願いしました。

部門別反省会におきまして、

①盗作厳禁、②文字は丁寧に、③出品者全員に作品レジュメの発送、④投句・投詠の場所を三ヵ所にする、などの意見が出ました。

今後共、桑名市の文化向上に、皆さんの御参加を心よりお待ちしております。

〔短歌〕 太平修身先生選

ひとり来てひとりで帰る文化祭

しみじみと飲むコーヒー熱し

葛生ふる堤の端に花植えて

道行く人と話はずめり

野古墳に上り眺める足元に

黄色きちょう蝶の二匹戯むる

病む猫の背を撫でやるあらわなる

骨手のひらに触れて夜の更く

手擦れたる杖を裏戸に立て置きて

叔母は逝きたる黄泉の旅路へ

逆上り出来てコスモス揺れて居り

〔俳句〕 蒔田よし子先生選

降りる人乗る人も無き枯野駅

そぞろ寒子供の首に家の鍵

閉店の貼紙爛る秋の風

石の身を忘る小春の石狐

逆上り出来てコスモス揺れて居り

四日市市 蒔田 悅子  
蓮花寺 小寺 美津子

相川町 水谷 義二  
蓮花寺 松井 貴美子

五反田 中村 輝生  
蓮花寺 常田 韶子

〔川柳〕 木原広志先生選

カトレイアを幹部が汚す包装紙  
大企業なで切りにする総会屋  
菊人形白扇持たせ出来上がる  
豊年の言葉むなしき米あまり  
釣り師より野次馬多く居て長閑

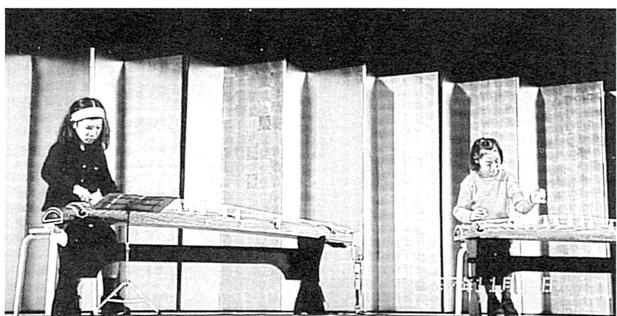
一色 外 蓮 花 内 東方門前町  
一色 町 堀 寺 堀 東方城下町  
内 上 山 横 中 内山西寺山  
田 原 口 田 橋 田本田本  
富貴子 巳喜子 辰 己 ひな子 守  
きみ子 九華郎 三郎 きみ子

芸能Ⅰ部門 謡曲まつり

芸能の祭典



11月16日 コミュニティプラザホールにて



11月16日 市民会館ホールにて

## 文化祭に参加して

美術部門 水谷えい子

(深谷市民館サークル養心書道会)

平成九年度美術部門文化祭は、絵画・書道・工芸など昨年より三十四点ふえて一六五点が出品されました。近年市民の美術にたいする関心の深さは、想像以上に大きなものがあります。桑名市の中公民館などで開かれている各講座などをみましても、生涯学習のため、趣味のため、友人を作るためなど目的はそれぞれでも、老若男女の活気あふれる姿があります。そんなたくさんの皆さんに見て頂きたかったのですが、私は今まで展示していくだけでした。が今回少しお手伝いさせていただき思つたことは、私達の部門は大山田コミュニティプラザということもあり、誰でも気軽に来れる場所でないという交通の難点から入場者がすこし少なかつたのがとても残念でした。そんな中子供達に絵を描く楽しさを知つてもらおうと、絵画の先生方が開いて下さった「お絵かき教室」にはお母さん連れられたたくさんのお子供達が参加してくれそれ個性あふれる作品を描いていたのがとてもうれしく

印象に残っております。次回展は今回以上に充実したものにできたら…と思つております。



子どもお絵かき教室

11月8日 コミュニティプラザ美術創作室にて

## 文化祭行事への提言

芸能Ⅱ部門 日浦 宝笙

(宝笙流桑名吟詩舞会)

客は恨む櫓声人語の間  
蓬窓相揖すれば總て生顔

一帆未だ発せず桑城の雨  
出没す雲中の百丈山。

この詩は頼山陽の長子聿庵のものですが、頼山陽の「舟にて大垣を発し桑名に赴く」に較べて吟界では全く知られていない。然し郷土の文字として見た場合、蘇水を舟で下った旅情よりも、雨にけぶる七里の渡し場の情景にこそ土地の人々は共鳴するものと思う。このように文庫の中に眠っているすぐれた詩歌のあることに注目したいものである。私はかつて我々だけの発表会で、平成六年から、桑名の歴史・伝説紀行・久波奈文学・

五十三次・そして本年は桑名城哀史と、郷土の文学的文化遺産の啓蒙に努めてきたが併せても六時間に満たないであろう。勿論私共は漢詩文学を伝統芸能分野の一環として、中国や国内の有名漢詩人のすぐれた詩文を伝承することが立て前であるが、若し許されるなら年一回の市文化祭行事として各流

会派が郷土の歴史を各時代毎に構成して吟剣詩舞道の祭典となることが出来れば真の意味での文協行事となるのではなかろうかと、ここに一言提するものであります。



吟剣詩舞道の祭典

11月30日 市民会館ホールにて

第一回洋舞の祭典を終えて

芸能Ⅲ部門 伊藤 好子  
(伊藤好子&ダンシングステップ)

ステップdeムーブメントも一回  
目を迎える事が出来ました。二つの  
グループの参加で少々さみしさ  
を感じていましたが、会場からの  
拍手、幼児から大人まで六十四名  
の活気ある踊りで舞台がせまく感  
じられるほどのパワー、個性的な  
動きと音楽・照明など“今”を思



IIステップ, de, ムーブメント 武者真理子モダンバレエキッズ  
11月24日 コミュニティプラザホールにて 伊藤好子&ダンシングステップ

'97桑名の演劇を振りかえる

演劇部門 若葉 正則  
(劇団すがお)

5月劇団すがおは、芝居とマリンバとのジョイント公演をホテルの宴会場で行いました。高橋いさを作「ここだけの話」で、演出・出演者も二組にわけ、1日4回交互に公演、なかなかの盛況でした。この後10月10日から菰野町で行われた県民文化祭の“演劇の集い”でも公演をしました。

さらに韓国・馬山での世界アマチュア演劇祭にも参加しました。また、8月10日には第2回桑名演劇塾公演が催され、一般市民も参加して、栗木英章作“石取祭よ・夜空にゆれる十二張”が上演され、好評でした。

子ども演劇くわなは、創作劇「ピノキオといじめっ子」喜多と志作・演出で、11月2日に城南小学校、11月9日にコミュニティプラザ、12月20日に福祉会館などで、移動公演が続けられました。

高校演劇のこの1年は、第42回県高校演劇北勢地区大会が7月26~28日に行われて優秀賞に桑名西高校、優良賞には桑名高校が、そして8月5日からの県大会では桑名西高校に優良賞が飾られました。

最後になりましたが、秋には劇団すがお代表の加藤武夫氏が三重県教育功労賞（文化功労）を受賞されました。

〈これからの予定〉

劇団すがお…3月14~15日、コミュニティプラザにて

第56回公演「マインド」大橋泰彦作・石垣正司演出

子ども演劇くわな…2月、桑名市立清風園にて

「ピノキオといじめっ子」公演

高校演劇第10回北勢地区合同発表会…3月26日~28日、

四日市市あさけプラザにて、桑名・桑名西・桑名北・員弁の各高校が出演

いつきり自由に表現する事が出来た二時間三十分でした。あつとう間に過ぎ、出演者全員体を動かす事の楽しさを身をもって感じる事が出来ました。そして出演者を支えるスタッフや保護者の皆さん、佐藤会長、文化協会・教育委員会の皆さんの応援と深いご理解とご支援のお蔭をもって無事終演する事が出来ました。これからも文化活動の輪の拡大のために多くの人が参加する仕かけの創意工夫と努力が必要だと考えます。



↑ 市制施行60周年記念事業  
(桑名演劇塾第2回公演)  
↓ わが街桑名・石取祭よ 夜空にゆれる十二張  
平成9年8月10日 桑名市民会館ホールにて



## 音楽のフルコース パート2

フルコースを楽しんでいただきました。

音楽部門 金沢 勇治  
(個人会員)

平成九年十一月二日午後二時より音楽のフルコースパート2を開催しました。

これは、昨年にひきつづき音楽のフルコースと銘打って、さまざまなジャンルの音楽を楽しんでいただきたいと企画した催しです。

開催するのに先立つて企画委員会を作り七月ごろから出演者の募集や合同演奏の仲介、出演順などの企画準備を進めてきました。開催前日には、リハーサルを行いヒナ台の設営や音響設備の準備をして、実際に演奏時間を計ったり、出演者の出入りチェック等を行いました。

当日は、午前中からリハーサルをまた行い、グランドフィナーレの二曲もこの時はじめて全員で行いました。

桑名弦楽合奏団の演奏を皮切りに、コーラスや軽音楽(ロック)そして今回初めて出演していただいたマリンバデュオ、合同演奏と



音楽のフルコースパート2 グランドフィナーレ 11月2日 桑名市民会館ホールにて

## 私たちの活動が桑名文化の記録保存事業の一助に

社会文化部門 松田 恭昌  
(石取祭車研究會)

私たち石取祭車研究會が社会文化部門に籍を置いて、早いもので五年目を迎えようとしております

が、会の発足も今年で二十年を迎える。会員も当初十代という若さで、血氣盛んではありました。活動範囲においてある種の限界を感じつつの運営でもありました。

しかし、現在会員年齢も三十代後半となり、かつての元気さはないものの、各地の祭礼に携わる人々や研究者の方々とのネットワークもでき、年を追うごとに活動内容も充実してまいりました。

さて、近年地域文化の活性化ということがうたわれ、三重県でも平成八年度より祭礼行事記録調査事業に着手しておりますが、その先陣を切つて桑名市の石取祭が記録映像の作成事業を完成させており、二年目に当たる平成九年度の調査報告書作成事業では当会が全面的に協力させていただきました。

私たちによつても久しぶりに100ページを超える報告書の作成となり、また今までに調査経験のない分野(装束など)に関する項目などもあり大変苦労しましたが、今回の経験を生かし、全員共々なおかげで精進していきたいと思つております。



三重県指定文化財・春日神社の石取祭  
(平成9年8月3日・本楽渡祭風景)  
桑名市本町・桑名宗社社前にて

## 一日清閑・月福

茶華道部門 伊藤 宗友

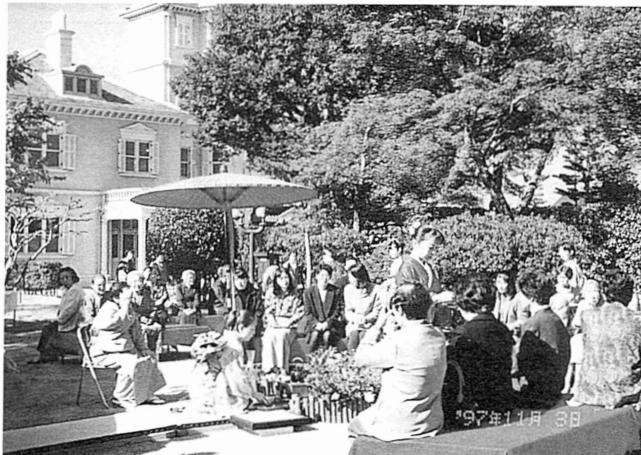
(裏千家)

平成七年以來、六華苑にて六回の月金を担当してまいりました。

初めの頃から、特に道具に心をつかつたり、取り合わせにも気を配つたりもしました。一方、月金で他流の方々とお目にかかる機会も増えました。また、茶会ばかりではなく、お花や、各種の展示も同時に行われることもあって、交流の輪も広がり、喜んでいます。

このほど六華苑が国の重要文化財に指定されました。桑名の一市民として誇らしい気さえします。

も月金を続けてまいりたいのです。それには、●手近にあるお道具で、取り合わせを工夫しながら楽しむことのできる茶会を、●人ととの出会いを大切にし、多くの方々に参加していただけるなどやかな茶会を、めざしたいと思います。



大茶会野点席

11月3日 六華苑芝生広場にて

私は、一日清閑・月福とすることができるよう、月金をこれか  
らも続けてまいりたいと存じます。

## 平成十年度 六華苑での月金予定

(午前十時～午後三時三十分)

開催日	茶道担当流派	華道担当流派
四月十九日	煎茶 松風流	MOMA月光輪花
五月十七日	表千家流	小原流
七月十九日	松尾流	中山文重雲・池坊
九月二十日	遠州流	蓄流・拂サーグル・ いはな鶴
十月十八日	裏千家	
十一月十七日	松尾流	
十二月一日	裏千家	
三月二十日	表千家流	竹真流
四月一日	草月流	

\*茶会は離れ屋で、華道展は茶室で開催します。

## 小さな出会いが 素敵な思いを

趣味教養部門 西村 邦彦

(桑名将棋同好会)

第六回市民芸術文化祭を、六華苑と市民会館の二つの会場で催しました。当部門はいろんな分野の団体・個人が入会しているので、なかなか楽しい時です。

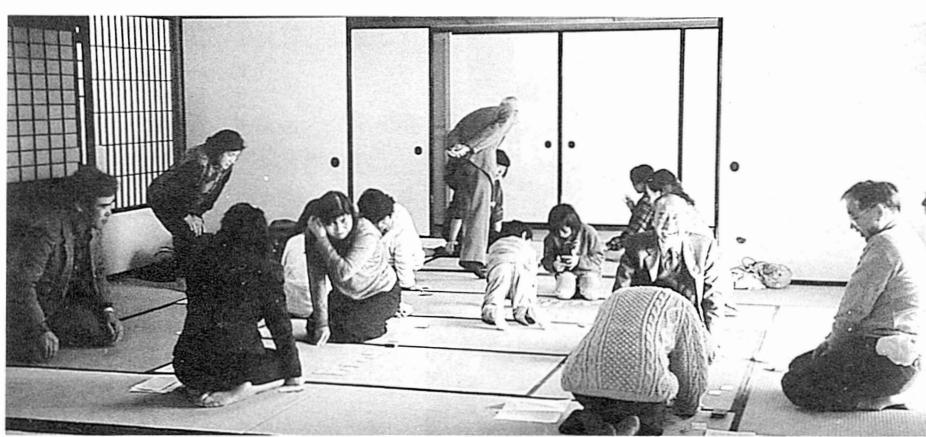
いつもながら、ここのがグループは、どんなことをしているのかと興味津々であり、そこに交流ができ、新しい発見が生まれています。

確かに、理解できぬことが多々あります。一生懸命に打ち込んでいる様子が、じかに伝わってきて、共通の何かがぼんやりと見えてきます。

このような体験ができる…これが文化協会で文化祭と一緒に催しているエネルギーの一つかもしれません。

先の私どもの部会の中で、「文化祭で感じた思いを文化協会全体で、できたら」という話しがまとまりましたが、すぐには無理と思

い、まず春先に私たちだけで、何か催しをやってみたいと思つていいます。部門を限定せずに、参加できるものにしたいので、よかつたらご参加下さい。



百人一首入門講習会

11月24日 六華苑一の間・二の間にて

## 子どもと文化のかけはしに

子ども文化部門 小川 麻美

(桑名「子どもの本」勉強会)

子ども文化部門が独立して2年目をむかえ、昨年より活動が盛んになりました。

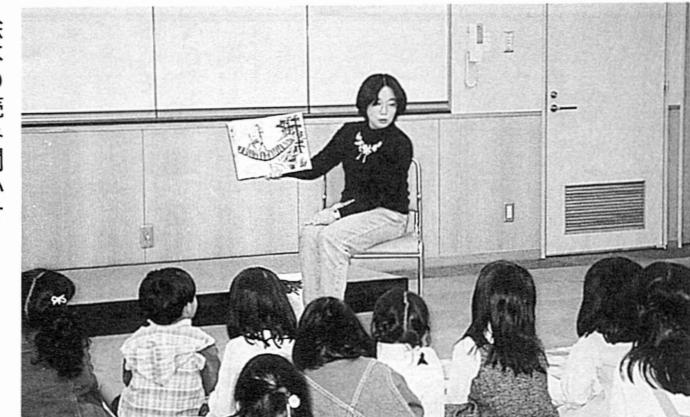
子ども文化祭が桑名市制施行60周年記念事業の一環として桑名市民会館にて開催され、企画参加で「末吉正子ストリーテリング」を催しました。

市民芸術文化祭はコミュニティプラザにて開催され、子どもフェスタとして「絵本の読み聞かせ」・「ちびっこマナー教室・知ってるかな？おはしのマナー」また、協賛事業として「まのあけみコンサート」など、幼いお子さんから、お父さんお母さん、おじいさんおばあさんまで、いろいろなかたちで参加していただきました。

私たち、子ども文化部門の仲間は、それぞれの活動を通じて、子どもたちに、良い本や質の高い文化に触れて、精神的に豊かに成長してほしいと願っています。大人と子どもの共生共存、人と人との和のつながりを広げようと日々、自主活動を続けております。

各方面のご援助・ご理解が戴けましたら幸いです。

11月16日  
コミュニケーションプラザ中会議室にて  
絵本の読み聞かせ



## 特別寄稿

このたび三重県教育功労賞を受賞されました加藤武夫様にお願いして御寄稿頂きました。

### まだまだこれから

劇団すがお 加藤武夫

劇団がこの地に生まれて三十六年がたち、この間のステージ数が四〇〇回を超えた。私が欠けたのは二ステージのみで、あとは全部の公演に参加してきた。芝居は上演する側と観客とが一体となつて成立する。また、公演そのものを支えてくれる方々も必要である。それを実感しての三十六年であった。昨年、はからずも三重県教育功

劇団員はもとより、この受賞はもう一度公演を支えてくれた方々も含めて、みんなに頂いたものだと思って喜んでいる。  
どの集団でも結成には相当のエネルギーを必要とする。しかし、本当はその集団を維持して行くのにもっと多大なエネルギーと知恵が必要である。また、場合によっては金も不可欠である。

とりわけ、観客の支持がなくては続かない。いい舞台を維持して行かねばならない。劇団員は新陳代謝で入れ替わりも多い。時代と共に芝居も変わるし観客も変わる。そんな中、で多くの人々の感動を呼ぶ舞台をめざして、これからも頑張りたいと思っている。



石取祭よ・夜空にゆれる十二張に出演中の加藤氏（中央）  
桑名市民会館ホールにて



韓国公演「ここだけの話」上演班とともに（右端）馬山市役所前にて  
～公民館長・市収入役・小林市議・西羽見氏・桑名吹奏楽団員・シャンテクレール副團長も参加～

## 【第六回総会予告】

日時 平成十年五月二十四日（日）  
午後一時から

場所 桑名市コミュニティプラザ  
中会議室

☆ 各部門ごとに代議員の選出をしていただきます。  
詳しくは各部長から連絡します。

桑名市文化協会五周年記念事業

### シンポジウム『桑名』開催について

日時 平成十年五月二十四日（日）

午後二時から

（総会終了後）

会場 桑名市コミュニティプラザ

文化ホール

桑名市文化協会は、平成五年六月二十七日に設立総会を行ない、今年で満五周年を迎えます。そこでこの度桑名の文化全体を考え、今後の発展に結びつくような記念事業として、シンポジウム『桑名』を企画しました。

桑名の文化をいかに切り開いていくか、明日への活力となるようなシンポジウムにしたいと思いますので、多数ご出席いただきたいと思います。



六華苑（旧諸戸家住宅）平成9年12月3日重要文化財に

### シンポジウム「桑名」によせて

桑名市文化協会5周年記念事業実行委員長 西羽 晃

桑名市文化協会は本年で設立五周年を迎えるにあたり、記念事業を検討しました結果、シンポジウムを開くことにしました。高い経費をかけて外部から有名人を招いるのか疑問ですから、パネラーは郷土に密着し、草の根で汗を流している人たちが本音を出し合えるように、公募しました。それは又桑名の文化活動を支える人材の発掘、育成になると思います。

文化活動をするなかで、行政からの支援は欠かせません。行政に対する不満は限りなくあります。

行政側は財政難だと言います。からば金をかけずに支援する方法を考えていくことが必要です。頭をわずかに切り替えるだけで、支援する方法があるはずです。お互いに知恵を出し合って考えてみたいと思います。行政と対立するではなく、共生しながら、桑名の文化を高めていく契機になれば、今回のシンポジウムは成功したと言えます。

当日は壇上のパネラーだけではなく、一般参加者からの発言も求めます。沢山の方々が参加して下さるよう期待しています。

### ◆広報委員会編集後記◆

昨年は市制六十周年ということで、例年にもまして多彩な行事が展開されました。今年は文化協会設立五周年を迎え、益々の発展を切望しております。

委員長	社会文化部門	大河内 浩
委員	文学部門	上原巳喜子
	美術部門	水谷えい子
芸能Ⅰ部門	松尾 廣文	
芸能Ⅱ部門	松田 正美	
芸能Ⅲ部門	鈴木 友子	
音楽部門	若葉 正則	
演劇部門	金沢 勇治	
茶華道部門	小川 章子	
趣味教養部門	伊藤 友子	
子ども文化部門	長尾寿美子	